

月花海漫

四

雜番九子
印五册内

海漫

~ 13
3142
4



月夜道 福巻之口

才一 對し令ふる樓

李王帝始舞花娘と愛んぶる
法舞容花舞とをりる

才二 詔と陸とれちのひ死

所魯答が子に陸よいてる
玉帝婦と泰の宮とて死せり

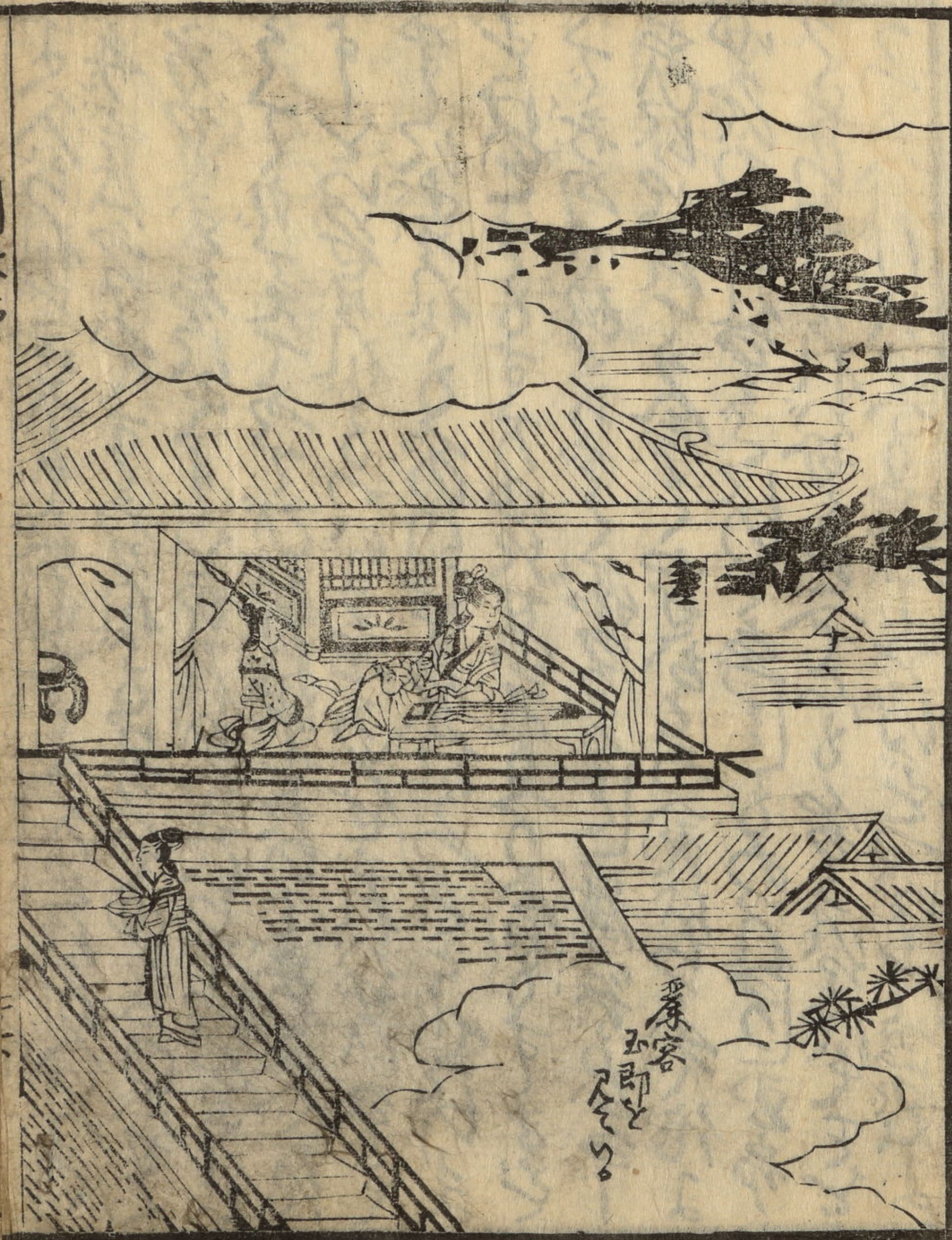
才三 山陰金石の宝

若井中の宮殿とて取置とる
右丞おきて所奠答と謀する

才一 對しあはるる楼

石の代は石の中たるを名令後松
石の代は石の中たるを名令後松

けいせいすまをてれくもあんし
今ろ城のよたあひだてく
とくすまの代は石の中たるを名令後松
のこまびくろりなまみんあ
友はなとびますあす
まてあはすまおたるあ
つきのそとにらぬる
つてあはすまおたるあ



み入らねばと交へて難くして出入せざる人ありて
舟に乘りて入るすめかれども交りて出らざる人
ありて玉帯に申す可れが夫もたはるるを
うてこれを見てかてび親族仲とたのむ者も今死
すといふ者もなほつひは事ありせられせひりて
申すにせられどもその内は事なかりくともたのま
どは只こどもすすの心せざるもその心もすまじ
くぞちの心碎らるるぞく病多かりては「麻客もち平
安の心はなれて今もくおをころへ死はらるる他は
ゆゑのけしめしきこの心もくもわれは玉帯
くらりありて毎も申すて人も多かりて死せし
るるを承りて父も申すてはびとつひは事なかり

まろを法犯方さうてなはるか我れもしすめが
つて他へ移りてしなげとありてありてありてあり
かれはあつてははげひひきし事ありて死せし
細帯ぬきぬきとれをころひ今もて死せし事あり
とまゝなるの二ふが舟にありてさあかたを人さ
もるるべき

舟二 船と怪とれあひ死

まろを法犯方さうてなはるか我れもしすめが
つて他へ移りてしなげとありてありてありてあり
かれはあつてははげひひきし事ありて死せし
細帯ぬきぬきとれをころひ今もて死せし事あり
とまゝなるの二ふが舟にありてさあかたを人さ
もるるべき



人好む所成ともは中に出る所ありて
幸なく富やうをすに無常のたれは
たまたまあひけ三人が死せし
世はまはるたるとありて死せし
まはるもいはずてのひに死せし
命せん人書本はをよむるに
石を室とせ付きて法地よの
人分要とつと料と今人の
いあ人もあへにそれなり
もともありて死せし
つまたあす成のたれは
とひつたるひの死に
てつとあまてけつて
るは死せし
答ひいすに人死
と死地よの
我とあひは
あふきん
死法は
うあつ
あさる
あよりて
たれは
あま

てつとあまてけつて
るは死せし
答ひいすに人死
と死地よの
我とあひは
あふきん
死法は
うあつ
あさる
あよりて
たれは
あま

